

放射線医学研究所における USB メモリの紛失について

1. 概要

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（以下、QST）の放射線医学研究所において、企業関係者及びQST元職員、現職員等の110名の個人情報を含むUSBメモリが紛失する事案が発生しました。当該USBメモリに含まれていた個人情報は以下のとおりです。なお、情報の漏えい等については確認されておりません。

- ① 企業関係者 14名（氏名、会社名、会社住所、会社電話番号及び会社FAX番号）
- ② 元職員及び元受入研究員 31名（氏名のみ）
- ③ 職員及び受入研究員 65名（氏名、性別、現住所）

2. 経緯

7月11日に職員がデータを移行するために当該USBメモリを携行して複数の部屋を移動した後、紛失したことを認識し、情報セキュリティ管理者に報告するとともに、所属部署の職員を動員して捜索を行いました。現時点において、当該USBメモリは見つかっていません。その翌日、当該USBメモリ内に保存されていた全データの詳細な調査により、上記の情報が含まれていることが判明しました。

3. 発生の原因

QSTの情報セキュリティ対策基準に反し、作業に必要な情報のみを保存しそれ以外の情報についてUSBメモリから削除すべきところ、それを実施していませんでした。また、保存した情報に対する暗号化等の措置等の紛失防止措置も行っていませんでした。

4. 本事案への対応及び再発防止策

当該部署が管理していたUSBメモリ全てを回収し他に紛失がないことを確認すると共に回収した全てのUSBメモリについて初期化を実施しました。

また、郵送可能な該当する関係者の皆様全員にお詫びの文書を速やかに発送することとしています。

今後は、個人情報の適切な管理・取り扱い等の情報セキュリティ教育・指導の徹底、及びUSBメモリの使用・管理に関する基準の遵守を徹底すると共に、作業後の情報削除の徹底、自動暗号化機能の活用、ストラップによる紛失防止措置等の対策を通じて、さらなる再発防止に努めてまいります。

以上